

世 界 史

注 意

1. 問題は全部で 17 ページである。
2. 解答用紙は(その1)(その2)がある。解答用紙(その1)はマーク・シートになっている。
3. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。(ただし、マーク・シートにはあらかじめ受験番号がプリントされている。)
4. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
5. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
6. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

マーク・シート記入上の注意

1. HBの黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する記号・番号の○を塗りつぶすこと。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

解答記入例(解答が1のとき)

1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7	<input type="radio"/> 8	<input type="radio"/> 9	<input type="radio"/> 0
---	----------------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------

4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことになる。
5. 解答用紙をよごしたり、折り曲げたりしないこと。

I 第二次世界大戦後の環太平洋地域についての次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

第二次世界大戦によって世界経済は大きな打撃を受けた。この大戦の直後で、アメリカ合衆国(以下、米国)は世界の鉱工業生産の [A 1] 割強を占め、また世界の金の [A 2] 割近くを保有していた。このことから戦後の世界経済における覇権は米国が握ることになり、世界の戦後復興のための枠組みも米国を軸に設計されていった。

この制度設計の嚆矢となったのは、19 [ア] 年に米国の [B] に連合国の代表が集まってなされた会議である。この会議では、第一次大戦後のドイツの賠償問題やブロック経済、そして世界恐慌などの経済問題が第二次世界大戦の遠因となったという認識から、国際通貨基金と国際復興開発銀行の設立が合意され、それらは19 [イ] 年に設立されている。この [B] 体制のもとで、米国が保有する金が基軸通貨としての米ドルを通じて各国の通貨価値を保証するという金ドル本位制^(c)によって世界経済を安定・成長させようとする制度的枠組みが構築された。また、第一次大戦後の自由貿易を制限する政策も第二次大戦のひとつの原因であったことから、自由貿易を追求しようとするGATTが19 [ウ] 年に成立している。この協定は多角的貿易交渉(1986~94年)、いわゆる [C] =ラウンドにおいて世界貿易機関として受け継がれることが決定された。

このように世界大戦を回避しようとする国際的な枠組みが構築されたものの、冷戦を背景とした地域的な戦争や紛争が頻発した。そのなかで、米国の経済的覇権を揺るがすことになったのがベトナム戦争^(e)である。ベトナムは南北に分断されており、南ベトナムは米国の支援を受けて反共政策を進めていた。しかし、南ベトナム解放民族戦線^(f)が結成されると、南北ベトナムの対立が激化した。ここで、自由世界の防衛という名目のもと、米国はベトナム戦争に本格的な軍事介入をはじめた。これに対して、中国やソ連は北ベトナムに大規模な軍事・経済支援をおこなうことになる。

長期化するベトナム戦争への介入は米国経済を疲弊させて、ついに

19 [エ] 年には米国の貿易収支が一世紀ぶりに赤字に転落した。もはや [B] 体制の維持は困難となり、ドル危機が世界経済を襲うことになる。この混乱に拍車をかけたのが、19 [オ] 年の第4次中東戦争を契機とする第一次石油危機である。

世界経済の混乱に対処するために、19 [カ] 年には先進国首脳会議(サミット)が開催された。その後は欧州や日本の経済が回復していくなか、「強いアメリカ」を掲げるレーガン政権のもとで新冷戦と呼ばれる軍備拡大戦略が展開されたことから、米国は「双子の赤字」を深刻化させた。そして19 [キ] 年に米国が世界最大の債務国になると、先進国が為替市場に協調介入してドル高を是正するという [D] 合意がなされる。この合意は、世界経済に多大な影響を与えることになった。

ベトナム戦争は東南アジアにも大きな影響を与えた。制度的枠組みとして注目されるのは、東南アジア諸国連合(ASEAN)の結成である。これは、設立当初は反共同盟としてのベトナム包囲網という性質を強くもっていたが、ベトナム戦争終結後には経済協力機構へと転換している。その後 ASEAN 諸国はアジア通貨危機を経験し、またタイやマレーシアなどは高度成長期を終えているが、インドネシアやフィリピンなどが成長期に入りつつあることから、ASEAN 経済は全体的には順調に推移している。

中国では鄧小平を中心とする新指導部のもと、19 [ク] 年から四つの現代化を含む改革・開放政策を進めた。しかし党官僚の腐敗や人権の抑圧、そして所得格差の拡大などの問題に直面している。

問 1 [A1] と [A2] に入る数字の組み合わせとして最も適切なものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の [1] にマークしなさい。

- ① 4と6 ② 5と7 ③ 6と7
④ 6と5 ⑤ 7と6

問 2 に入る最も適切な言葉を解答用紙(その2)にカタカナで記入しなさい。

問 3 に入る最も適切な言葉を解答用紙(その2)にカタカナで記入しなさい。

問 4 に入る最も適切な言葉を解答用紙(その2)にカタカナで記入しなさい。

問 5 に入る西暦の下二けたの数字として最も適切なものを下の<数字1>の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の にマークしなさい。

問 6 に入る西暦の下二けたの数字として最も適切なものを下の<数字1>の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の にマークしなさい。

問 7 に入る西暦の下二けたの数字として最も適切なものを下の<数字1>の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の にマークしなさい。

<数字1>

① 44

② 45

③ 46

④ 47

⑤ 48

⑥ 49

⑦ 52

⑧ 53

問 8 に入る西暦の下二けたの数字として最も適切なものを下の<数字2>の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の にマークしなさい。

問 9 に入る西暦の下二けたの数字として最も適切なものを下の<数字2>の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の にマークしなさい。

問10 に入る西暦の下二けたの数字として最も適切なものを下の<数字2>の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の にマークしなさい。

問11 に入る西暦の下二けたの数字として最も適切なものを下の<数字2>の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の にマークしなさい。

問12 に入る西暦の下二けたの数字として最も適切なものを下の<数字2>の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の にマークしなさい。

<数字2>

- | | | | |
|------|------|------|------|
| ① 67 | ② 71 | ③ 73 | ④ 75 |
| ⑤ 78 | ⑥ 81 | ⑦ 85 | ⑧ 87 |

問13 下線部(a)に関連する記述として適切ではないものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の **10** にマークしなさい。

- ① イギリスに次いで米国も金本位制から離脱したことが、経済ブロック化の流れを進めることになった。
- ② イギリスは、ウェストミンスター憲章でイギリス連邦を発足させて経済危機を乗り切ろうとした。
- ③ フランスは、ベルギーとイタリアという金本位制を維持していた国とフラン=ブロックを形成した。
- ④ 欧米のブロック化に対処するために、日本は、台湾・朝鮮そして満州に円ブロックを形成しようとした。

問14 下線部(b)の英語名称の略語を、アルファベット4文字で解答用紙(その2)に記入しなさい。

問15 下線部(c)に関連する記述として適切ではないものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の **11** にマークしなさい。

- ① 金1オンスは35ドルと定められた。
- ② 日本も、固定為替制度のもと、第二次大戦終結の直後から1ドル=360円の為替レートが1970年代初めまで維持された。
- ③ 国際復興開発銀行は、世界銀行とも呼ばれている。
- ④ 日本も国際復興開発銀行の融資を受けた経験がある。

問16 下線部(d)の日本語での名称を解答用紙(その2)に記入しなさい。

問17 下線部(e)に関連する記述として適切ではないものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の **12** にマークしなさい。

- ① 韓国も軍をベトナムに派遣した。
- ② 北緯 17 度線を暫定的軍事境界線として、南北ベトナムは分断された。
- ③ トンキン湾事件を口実に米国は北ベトナムへの爆撃をおこなったが、その時の大統領はジョンソンである。
- ④ サイゴンは 1975 年 4 月に陥落して、同年、南北ベトナムの統一が果たされた。

問18 下線部(f)に関連する記述として最も適切なものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の **13** にマークしなさい。

- ① 北ベトナムで結成された。
- ② ホー・チ・ミンが、有力な結成メンバーであった。
- ③ ベトナム戦争が始まる前の 1959 年に結成されている。
- ④ ベトナム民主共和国の支援を受けて、ゲリラ戦を展開した。

問19 下線部(g)に関連する記述として適切ではないものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の **14** にマークしなさい。

- ① このときの米国大統領はニクソンである。
- ② 10%の輸入課徴金が導入された。
- ③ ドル紙幣と金との兌換が停止された。
- ④ 米国の貿易収支が赤字となった翌年、固定相場制から変動相場制への移行がなされた。

問20 下線部(h)に関連する記述として適切なものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の **15** にマークしなさい。

- ① この戦争でイスラエルは勝利して、シナイ半島などを占拠した。
- ② この戦争は、エジプトとヨルダンの連合軍がイスラエルに奇襲をかけることによって始まった。
- ③ この時のエジプトの大統領はサダトである。
- ④ 石油輸出国機構はイスラエルを支援する諸国に対して原油輸出の停止や制限の処置をとって、第一次石油危機が発生した。

問21 下線部(i)に関連する記述として適切ではないものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の **16** にマークしなさい。

- ① この合意の直後には米国の貿易収支は急激に改善した。
- ② 日本は東南アジアへの直接投資を加速化させた。
- ③ この合意以降、約2年で、円の価値は対ドルで約2倍になった。
- ④ この合意は、米国のほか、日本・西ドイツ・フランス・イギリスの間でなされた。

問22 下線部(j)に関連する記述として適切ではないものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の **17** にマークしなさい。

- ① 東南アジア諸国連合の結成に加盟したのは5か国であった。
- ② 2002年に独立した東ティモールも東南アジア諸国連合に加盟して、東南アジア10か国すべてが加盟国となった。
- ③ 東南アジア諸国連合の結成の2年前に、マレーシアからシンガポールが分離・独立した。
- ④ 東南アジア諸国連合に加盟した時のフィリピンの大統領はマルコスであった。

問23 下線部(k)に関連する記述として最も適切なものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の **18** にマークしなさい。

- ① この危機は1995年に発生している。
- ② この危機の震源地は外資導入を積極的に推し進めていたマレーシアである。
- ③ この危機は域内にとどまらず、韓国やロシアにも飛び火した。
- ④ 世界銀行が中心となった融資によって危機の軽減が図られた。

問24 下線部(l)に関連する記述として適切ではないものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の **19** にマークしなさい。

- ① 四つの現代化とは、農業・工業・国防・科学技術の近代化である。
- ② 四つの現代化は、1975年に、華国鋒首相が提起した。
- ③ 人民公社が解体されて生産請負責任制が導入された。
- ④ 対外経済開放の拠点として、深圳・珠海などに経済特区が設けられた。

II 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

中国が抱える内政、外交上の問題を理解するうえで、中国の周辺や辺境において生じた出来事を振り返る視点は重要である。17世紀はじめ頃、東インド会社^(a)を設けてアジア進出を本格化させたオランダは1624年、台湾^(b)を領有して東アジア交易の拠点としていった。一方17世紀、武装商業勢力が中国東南部に出現した。1661年には 人を母に持つ鄭成功が台湾を領有し、清朝に抵抗しつつ、東アジア交易を進めた。

清の版図が最大規模に達したのは 帝の時代であり、当時清はイスラーム化した東トルキスタン地域を征服して と名付けた。この東トルキスタン地域は、19世紀には、コーカンド＝ハン国の将軍の進出を機にロシアと清朝の間で係争地となり、両国間で 条約が結ばれた。 帝の治世下で18世紀半ば、清は欧米諸国との交易を 一港に限定し、特許商人組合である に対外貿易を請け負わせた。こうした措置は欧米からすると一種の管理貿易にほかならず、中国茶の需要が多く輸入超過であったイギリスは不満を強めた。こうした中英間の通商摩擦は19世紀に入ってアヘン戦争にまで発展し、戦争の結果締結された南京条約に基づきイギリスへの香港^(c)の割讓が決まった。

また18世紀には の銀産出が急増し、その一部がアカプルコ貿易によって清に運ばれ、清の経済的繁栄を支えた。しかし、19世紀半ばには清の経済成長は鈍化し社会の不満が高まるようになった。広西省の辺境で始まった宗教^(d)結社による反乱の結果、太平天国が建てられた。

問 7 に入る適切な語を、次の選択肢の中から一つ選び、その番号を
解答用紙(その1)の にマークしなさい。

- ① 杭州 ② 上海 ③ 広州 ④ 天津

問 8 に入る適切な語を解答用紙(その2)に漢字で記入しなさい。

問 9 下線部(c)に関連する記述として最も適切なものを、次の選択肢の中から一
つ選び、その番号を解答用紙(その1)の にマークしなさい。

- ① 香港は租借期限の1997年にマカオと共に中国に返還された。
② 南京条約において、清は香港割譲に加えて上海など長江以南の5港の開
港を受け入れた。
③ イギリスは香港を植民地とした後、シンガポールを領有して、東南アジ
ア進出の二大拠点として活用した。
④ 南京条約でイギリスが獲得したのは香港島のみであり、その後もイギリ
スの統治が対岸の九龍半島に及ぶことはなかった。

問10 に入る適切な語を、次の選択肢の中から一つ選び、その番号を
解答用紙(その1)の にマークしなさい。

- ① チリ ② 日本 ③ ペルー ④ メキシコ

問11 下線部(d)の宗教結社の指導者は、誰の弟を自称したか。次の選択肢の中か
ら一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の にマークしなさい。

- ① ヤハウエ ② モーセ ③ イエス ④ ブラフマン

問12 清代には郷紳や商人による都市文化が発展し、数々の文芸作品が生み出さ
れた。当時の作品の例として、当てはまらないものを次の選択肢の中から一
つ選び、その番号を解答用紙(その1)の にマークしなさい。

- ① 紅樓夢 ② 狂人日記 ③ 聊齋志異 ④ 儒林外史

問13 20世紀における各地の動向として適切ではないものを、次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の **29** にマークしなさい。

- ① 第一次世界大戦後、日本はドイツから山東省の権益を得たが、九か国条約交渉に並行して行われた日中交渉の結果、中国に返還した。
- ② 内モンゴルは辛亥革命に際して独立を宣言し、中華民国の宗主権下で自治が認められたのち、ソ連の支援下でモンゴル人民共和国として独立を果たした。
- ③ 20世紀初頭にイギリスはチベットに侵攻し、清からの分離を画策した。
- ④ 日中戦争下で国民政府は、ビルマ、ベトナムなど援蔣ルートを通じてイギリスなどから支援を受けた。

問14 日清戦争を皮切りに、中国各地は列強により租借地など勢力圏とされていた。列強とその租借地の組み合わせとして適切ではないものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の **30** にマークしなさい。

- ① ドイツ—膠州湾
- ② フランス—広州湾
- ③ アメリカ—威海衛
- ④ ロシア—大連

III 次の文章は、19世紀から20世紀にかけて活躍したある学者の伝記である。これを読んで以下の問いに答えなさい。

ヴァルタザール・ボギシッチは19世紀南スラヴの生んだ最も有名な学者の一人であろう。1834年ツァヴタット(現クロアチア)で生まれ、自身はセルビア人であると言っている。その関心は多岐にわたり、スラヴ法学の基礎を築いたことが知られている。モンテネグロ民法典を起草し、これによって国際的な評価を得た。

1859年、ボギシッチはウィーン大学法学部の学生となり、同時期に、ヨーロッパ各地の大学(ベルリン、ミュンヘン、ハイデルベルク、ギーゼン、パリ)で、著名な教授たちの哲学、文献学、法学、歴史学の講義を聴講した。1862年ギーゼン大学で哲学博士号を取得し、さらに1865年にはウィーン大学で法学政治学博士号を取得した。1863年に、ウィーン宮廷図書館のスラヴ部門司書に任命され、1868年までこの職にあった。ここで多くの学者や政治家との親交を深めつつ、スラヴの歴史、文化に関する知識を深め、スラヴ諸語を勉強した。彼は、ウィーンにおける「スラヴの言葉」協会の設立に加わり、この協会の活動の一環としてスラヴ図書館設立を構想・実現して(1865年)、その館長となった。1868年から1869年までの間、ボギシッチはウィーン**(a)**の兵部省に勤めた。当初、国境地域の教育総監兼顧問としてティミショアラに赴任し、次いで**(b)**ペトローヴァラディンに移った。その後、国境地域の公教育再編成を任務とする委員会のメンバーとしてウィーンで働いた。1869年9月、ボギシッチは**(c)**ロシアのオデッサ大学にスラヴ法比較史正教授として**(d)**招聘され、1872年まで講義を行った。オデッサでも、ウィーンと同様に、スラヴ図書館の開設を果たし、ロシアを去るまでその長を務め、大いに成功を収めた。**(e)**1872年末、モンテネグロ公ニコラの要請を受けて、ロシア皇帝アレクサンドル2世は、ボギシッチにモンテネグロ民法典の起草を依頼し、同時に、ロシア政府の法律顧問に任じた。**(f)**1873年春から1888年までボギシッチはこの任務に当たり、最適と考える場所で作業をして良いというモンテネグロ公の言を受けて、1875年からはパリに本拠を据えてこれに取り組んだ。1877年**(g)**ロシアがトルコに対して**宣戦**すると、ロシア政府はボギシッチを**ブルガ****(h)**

リアへ派遣し、民事局で同地の新しい司法制度を確立する仕事に当たさせた。同年秋に任務が完了すると、ボギシッチはパリに戻った。

モンテネグロ民法典は、1888年「モンテネグロ公国一般財産法典」を正式名として公布され、同年施行された。ボギシッチはサンクトペテルブルクに赴き、1890年の初めに退職を願い出て、公務から解放された。しかし、その後ニコラ公からの要請を受けて、1893年にモンテネグロの司法大臣となり、その後6年間、法典適用の実際を追跡調査し、必要な修正を加えた。これを終えた後ボギシッチは、パリに戻って研究に勤しんだが、1908年、病氣療養のためにウィーンから故郷へ戻る途中、アドリア海北岸の都市 A において急死した。

問 1 ボギシッチがウィーンの宮廷や政府のために働いた1863年から1869年までの間に生じたこととして適切ではないものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の 31 にマークしなさい。

- ① プロイセンとオーストリアの間で戦争が生じた。
- ② プロイセンとフランスの間で戦争が生じた。
- ③ 北ドイツ連邦が成立した。
- ④ オーストリア=ハンガリー帝国が成立した。

問 2 下線部(a), (b), (c), (e), (f)に現れているような、スラヴ系諸民族の連帯と統一を目指した思想・運動を何というか。最も適切な語句を解答用紙(その2)に記入しなさい。

問 3 前問(問2)で問うた思想・運動に関する記述として適切ではないものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の 32 にマークしなさい。

- ① 19世紀初めに文化的一体性を求める思想として提唱された。
- ② 1848年プラハでこの思想に基づく会議が開かれた。
- ③ ロシアは南下政策に利用すべくこの運動を支援した。
- ④ オーストリアは国内のスラヴ系諸民族の統合の為にこの運動を推進した。

問 4 下線部(d)の都市は、オスマン帝国領を経て18世紀にオーストリア領となり、第一次世界大戦の後にルーマニア領となった。ルーマニアについての記述として適切ではないものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の **33** にマークしなさい。

- ① スラヴ系の住民が多数を占める。
- ② 1861年ルーマニア自治公国が形成された。
- ③ サン＝ステファノ条約でロシアとトルコがその独立を認めた。
- ④ ベルリン条約で国際的に国家として承認された。

問 5 下線部(g)アレクサンドル2世による治世についての記述として適切ではないものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の **34** にマークしなさい。

- ① クリミア戦争を開始した。
- ② 農奴に身分的自由を認める勅令を發布した。
- ③ ポーランドで生じた蜂起を弾圧した。
- ④ 外交では親ドイツ政策を採った。

問 6 下線部(h)の戦争に関する記述として適切ではないものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の **35** にマークしなさい。

- ① ボスニア＝ヘルツェゴヴィナで生じた蜂起が契機となった。
- ② ロシアは、スラヴ民族救済を口実としてオスマン帝国に戦争をしかけた。
- ③ サン＝ステファノ条約によって、ロシアの南下政策は再び挫折した。
- ④ ベルリン条約によってサン＝ステファノ条約は破棄された。

問 7 下線部(h)の戦争の結果についての記述として適切ではないものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の **36** にマークしなさい。

- ① ヴィルヘルム 2 世が戦後処理の調停に乗り出した。
- ② ボスニア＝ヘルツェゴヴィナの統治権はオーストリアに属することとなった。
- ③ イギリスはキプロスを獲得した。
- ④ セルビア、モンテネグロの独立が承認された。

問 8 下線部(i)ブルガリアについての記述として適切ではないものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の **37** にマークしなさい。

- ① ベルリン条約でオスマン帝国下での自治国となることが認められた。
- ② 青年トルコ革命を機に独立を果たした。
- ③ イタリア＝トルコ戦争に乗じてオスマン帝国の領土を奪った。
- ④ 第一次世界大戦では、同盟国側で参戦した。

問 9 セルビア、モンテネグロ、ブルガリア、ギリシアが結成した同盟で、オーストリアに対する対抗を名目とし、同盟国の領域からのオスマン帝国の駆逐を目指した同盟は何と呼ばれるか。最も適切な語句を解答用紙(その2)に記入しなさい。

問10 1914年6月ボスニアの州都サラエヴォでオーストリア帝位継承者夫妻が暗殺されると、背後にセルビアがいるとして、オーストリアはドイツの支持の下、セルビアに宣戦布告した。その後第一次世界大戦として展開する過程の記述として、適切ではないものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の **38** にマークしなさい。

- ① ロシアがオーストリアの宣戦に反応すると、ドイツはロシア、フランスに対し宣戦した。
- ② ドイツが中立国に侵入したことを理由としてイタリアはドイツに宣戦した。
- ③ オスマン帝国はドイツ・オーストリア側について参戦した。
- ④ イタリアはオーストリアに対し宣戦した。

問11 都市 **A** は、ボギシッチの死亡時はオーストリア=ハンガリー帝国領であり、第一次世界大戦中よりイタリアが併合を要求し、戦後も武力占領するなど国境紛争の対象となっていた。1924年にはムッソリーニによるイタリアへの併合が行われたこの都市の名称を解答用紙(その2)に記入しなさい。

問12 19世紀後半から20世紀にかけてのイタリアの動向についての記述として 適切ではないものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の **39** にマークしなさい。

- ① プロイセン=オーストリア戦争に際して、ヴェネツィアを併合した。
- ② 普仏戦争に乗じて教皇領を占領した。
- ③ 20世紀初頭にはオスマン帝国の領地の一部を植民地として奪った。
- ④ イタリアはアルメニアを保護国化した。

問13 1929年に成立し、セルブ=クロアート=スロヴェーン王国を改名した王国名を何というか。最も適切な語句を解答用紙(その2)に記入しなさい。



